

円陣～エンジン～



令和元年 12月 18日

根獅子小 校内研修通信 No12

文責 松田 優子

先日は（大変時間がたって申し訳ありません…）3・4年生の研究授業・授業研究会大変お疲れさまでした。特に濱口先生には、前日の教頭研修会の授業参観に引き続き、連日の研究授業ということで、大変お世話をお掛けしました。ただ、授業の流し方も含め、複式指導を長年行われているという経験から、「渡り」の回数を減らすことや「ずらし」の授業の実践など本当に学ぶべきことの多かった1時間となりました。今回の授業の中では、視点を大きく3つ持ち、それぞれについて研究を深めることができました。

①導入の仕方・題意のつかませ方

〈3年生〉

- ・友達のランドセルという身近なものの重さを量る活動から、子どもたちの意欲がわいていた。
- ・秤の目盛りを隠すことで量ってみたいという意欲につながっていた。
- ・ワークシートが写真付きで見やすく意欲がわいていた。

〈4年生〉

- ・学習内容につながるような掲示物をしてあった。
- ・最初に工夫なしの分け方をしてあったので、いろいろな考え方がでた。

濱口先生が、導入を大切にされ、子どもたちが意欲的に学べるようなハード面の準備やソフト面の準備をされていたことが良かったとの意見が多かったようです。導入から見通しまでは、子どもたちについておきたいところの一つですが、どうしてもつけない場合もあると思います。そんな時にワークシートを使って学ぶ道筋を作っておいたり、掲示物を使って前時を想起させる工夫をしたりすることは、複式の指導においては非常に重要なことだと思います。

複式授業のこと（ガイドを鍛える・ずらし）

- ・3年生も4年生もガイドの児童が中心となって、授業を進めることができていた。
- ・ガイドの児童の進め方が非常によく、ガイドの話を聞くほかの児童も共感的に聞くことができていた。
- ・ガイド表がその日の学習にあっているものだったので、スムーズに学習を進めることができていた。
- ・ガイドが進めてはいるが、時々先生がガイドの児童にアドバイスを行っていて、学習を進めることができていた。

みんながガイドとして上手に進めることはまだ難しいかもしれませんが、ガイドの児童を中心として、学習を自分たちで進めていくという考え方を子どもたちに持たせていくことは大切だと思います。（学びの責任を子どもたちに譲る。）また、教師の手を離れて学習をしていく中で、子どもたちの互いを認め合う様子や支持的風土の醸成の段階も見られるのではないかと思います。

ガイド表については、今後の検討課題です。低・中・高のそれぞれにあったガイド表を作るべきだと思います。濱口先生がされていたように、その日だけのガイド表を必要に応じて使っていくということも必要だと思います。

学び合いの活性化

〈3年生〉

- ・練習問題を解決する場面で、学び合いができていた。
- ・机の配置が良かった。

〈4年生〉

- ・友達の考えを共感的に聞けていた。
- ・先生のアドバイスで自分なりの考え方を持っていたので、学び合いに参加できていた。

学び合いを成立させるためには・・・

- 共感的に聞かせるためには、学級の支持的風土が必要。
- 学び合いの形態を学習内容で変えていく必要性。前で発表。ギャラリーウォーク。見合わせ。など
- 机の配置が重要。(班?横並び?)

というところが今回の授業で見えてきました。

今回の授業研究で行った3つの視点でのまとめは、以上のようになるかと思います。今年度行った授業研究の中で、RVPDCA サイクルで授業改善をしていけたことは、大きな成果になったと思います。

来年度は、人権教育推進事業の研究発表がありますので、方向性を変え、人権に関わって3つの視点で検証をしていきたいと思っています。ご検討をよろしくお願いします。

① 1人1人の考えや思いを大切にし、考えを持つことができたか。

② お互いの考え方を認め合うことができたか。

③ 意欲的に学び、対話的・主体的な学びができたか。

| 仮説より | 授業の中で（検証場面） | 方策 |
|--|----------------------------|--|
| ① 一人一人の考えや思いを大切にし、個別の支援を行い（自己決定）【決】 | 課題に対して自力解決をする場面 個別支援の場面 | 見通しを十分に行う 反応予想・応答予想の充実 課題解決のための情報や資料（ヒントカード） |
| ② お互いの考えや存在を認め合う学習集団を育むことで（自己存在感）【存】 | 学び合いの場面 考えを開き合うの場面 | 能動的な傾聴（話す・聞くの徹底） 関わり方の賞賛 |
| ③ 児童生徒が自ら考え意欲的に学ぶようになり、主体的・対話的で深い学びができるであろう。（共感的人間関係）【共】 | 練習問題解決の場面 振り返りの場面 | ペアやグループでの問題解決 ICTの利用 多様な考え、友達の考えの良さに気付かせる。 |

